



応用技術部会の活動計画

2001.6.18

NTTコムウェア

平野 光徳

(m.hirano@nttcom.co.jp)



活動方針と具体的なテーマ

■ 活動方針

- XMLを実システムに適用するにあたり、多くの技術者が抱えている技術的な課題の解決手段をみずから発見するとともに公開し、XML技術の向上および普及に努める。また、新しい技術(規格)の提案を目指す。

■ 活動内容

- XML基盤技術の評価を目的とした実証実験、プロトタイピングシステム開発
- 実用(アプリケーション)システムへの適用性評価を目的としたプロトタイピングシステム開発
- ベンダー各社が提供するXML関連プロダクトの評価

JavaコンソーシアムXML部会での活動状況

	平成11年度	平成12年度
プロトタイプング 及び評価	・カタログ情報サービス (eXcelonを使ったECシステム) ・QAシステム (FAQの管理システム) ・会員サービス (会員向けアンケート収集システム)	・XML化された教育データの処理システム ・SOAP/UDDIを利用したECシステム ・PDA上でのXMLブラウザ ・MicrosoftPowerPointのデータをSVGへ変換 ・携帯端末用の変換ソフトの評価 ・XMLSignature製品の評価 ・XSLTのTIPS作成
その他の活動	・XML関連製品のリストアップ ・XML勉強会	・XML関連製品の紹介(7回) ・学会、展示会発表(4回)

基本的には、JavaコンソーシアムXML部会での活動内容を
XMLコンソーシアムでは継続活動予定



テーマ選定について

■ テーマ選定の考え方

- 部会参加者からのテーマの提案と参加者募集
→ 2名以上の参加者があれば、WG(WorkingGroup)として活動し成果の共有化を図る

■ テーマ選定

- 開催日： 早期に開催予定
- 内容： テーマの提案とWG打ち合わせ
- 準備： テーマ案の作成

■ テーマの候補(案)

- コンテンツ管理へのXML適用
- XLinkの適用事例
- XLinkパーサの開発
- SMIL適用システム



XML関連製品の紹介

■ 目的

- XMLに関する製品情報を積極的に収集し、会員企業でのXML関連の開発等で有効に活用してもらう

■ 方法

- 会員企業から紹介希望の製品名を収集
- 製品を販売している企業と調整し、スケジューリングする
- 部会の集合打ち合わせの時間内に実施